

## 第 13 回 TCG 日本支部公開ワークショップ

2022 年 7 月 8 日(金) 13:15-17:00 日本時間 ハイブリッド形式

### 進化する環境で広がる IoT をセキュアにつなげる TCG 技術

～セキュアエレメントからリモートアステーションまで、IoT 機器の更なる強化へ～

変化が進む社会環境で益々活躍が期待され、依存度が高まる IoT 機器に改めて注目し、そのセキュリティに関して議論いたします。コンシューマーだけではなく、各種公共サービス、産業、及び重要インフラと呼ばれる分野のサービスを支える IoT 機器のセキュリティの現状の脅威の認識や問題点を共有し、世界的に進められている様々な標準化との接点を持ちながら、セキュリティ強化と対策に最新の TCG 技術がどのように貢献できるかなどを議論します。

### プログラム AGENDA

時間 (JST)	内容	(敬称略)
13:15 - 13:20	オープニング	TCG 日本支部 共同議長 安藤 万理江
13:20 - 14:00	デジタル化時代の IoT 機器に求められることと対応	東海大学 情報通信学部長 教授 三角 育生
14:00 - 14:05	Q&A / 休憩	
14:05 - 14:45	GlobalPlatform - IoT 時代のデバイストラスト基盤	GlobalPlatform 理事・同 Japan Task Force 主査 庭野 栄一 (NTT)
14:45 - 14:50	Q&A / 休憩	
14:50 - 15:30	期待が高まる IoT セキュリティ:標準化がもたらすもの	Trusted Computing Group IoT WG 共同議長 Steve Hanna
15:30 - 15:45	Q&A (Steve Hanna ライブ参加)/休憩	
15:45 - 16:25	TCG 技術を用いた”IoT”のセキュア化	TCG-JRF メンバー; 株式会社サイバーディフェンス研究所 技術部部长 富田 亨
16:25 - 16:50	Q&A / 座談会(三角様、庭野様ライブ参加)	
16:50 - 17:00	クロージング	

アジェンダは進行により変更される場合があります。

As of 6-02-2022

## 講演詳細 SESSION & SPEAKERS



**三角 育生** MISUMI, Ikuo  
東海大学 情報通信学部長 教授

1987年(当時の通商産業省に入省)から2020年(7月退官)まで行政において主としてサイバーセキュリティ政策、安全保障貿易審査などに携わり、例えば、サイバーセキュリティ基本法制定・改正やサイバーセキュリティ戦略の立案、日本年金機構事件等の重大事象への対応などに従事した。2022年4月から現職。元内閣サイバーセキュリティセンター副センター長、経済産業省サイバーセキュリティ・情報化審議官。博士(工学)、MA in Management。

### 講演内容: デジタル化時代のIoT機器に求められることと対応

今後、デジタル化の深化が一層進むなか、重要インフラや製造業をはじめ経済社会の様々な場面で、IoT (Internet of Things)機器等が量的、質的に浸透していくと予想される。経済社会においてイノベーションを促進し効率性を高めるなどの便益が増大するが、サイバーセキュリティリスクも高まる。これに対応するために政府、企業、ユーザなどがどのように対応するべきか、行政経験などを踏まえて概説する。



**庭野 栄一** NIWANO, Eikazu  
GlobalPlatform 理事・同 Japan Task Force 主査; NTT

早稲田大学大学院理工学研究科数学専攻修士課程修了後、日本電信電話株式会社入社。以来同社研究所・研究企画部門(経営戦略部門の一つ)にて分散システム、社会情報基盤、情報セキュリティ応用の研究開発及びプロデュースに従事。2005年より GlobalPlatform 理事・同 Japan Task Force 主査(2012~)他、国内 IC カード団体理事や政府検討委員を歴任。TTC 情報通信技術賞(総務大臣表彰)他受賞多数。現在、同社社会情報研究所 NTT リサーチプロフェッサー。

### 講演内容: GlobalPlatform - IoT 時代のデバイストラスト基盤

GlobalPlatform(GP)はICカードの標準化団体から、IoT市場をターゲットにセキュアデバイスの標準化団体へと発展を遂げている。本講演では、ICカード・SIMに代表されるセキュアエレメントからデバイス高信頼実行環境 TEE やデバイストラスト IF、デバイス PF の認定、そしてその応用と対象を拡大している GP の最新の状況を紹介するとともに、この流れの中で連携が進展している TCG との協業について述べる。



スティーブ・ハナ Steve HANNA

Trusted Computing Group IoT WG 共同議長  
インフィニオンテクノロジーズ  
コネクテッド・セキュア・システム  
ディステイニングイッシュト・エンジニア

スティーブ・ハナは、インフィニオンテクノロジーズのディステイニングイッシュト・エンジニアで、IoT セキュリティ戦略及び技術を担当。インフィニオンの他にも、TCG の IoT Work Group および Industrial Work Group の共同議長、インターネット技術タスクフォース(IETF)のセキュリティエリア・ディレクターのメンバー、国際自動制御学会(ISA)の Industrial IoT Security Work Group の共同議長を務める。情報セキュリティ、特にソフトウェアとシステムに関する専門的な知識と豊富な経験を持つ。48 件の特許の発案者または共同発明者であり、数多くの標準規格やホワイトペーパーの著者であり、業界イベントでの常連スピーカー。ハーバード大学でコンピュータサイエンスの学士号を取得。

#### 講演内容： 期待が高まる IoT セキュリティ:標準化がもたらすもの

近年、IoT のセキュリティ環境は、複雑で互換性がなく、残念ながらあまり安全とは言えない状態で停滞していると言っても過言ではない。現在、TCG やその他の標準化団体で開発されている新しい規格は、技術や今の状態を、以前よりはるかに押し進めることができ、これらの標準の普及が進むことにより、IoT のセキュリティ環境はより優れた、より均一なレベルに到達することができる。しかし、ネット環境を脅かす攻撃は、より巧みな技術や方法で攻撃し続ける為、安心できない。本講演では、現状の実現できている IoT のセキュリティ環境を理解し、次に何が必要とされているのか具体的な内容を説明し、更なる調査や研究等の取り組みの道筋を示す。



富田 亨 TOMITA, Toru

株式会社サイバーディフェンス研究所  
技術部 部長

前職においてデリバティブ、為替取引システム、大手キャリア向けのセキュリティソフトウェアの開発を経てサイバーディフェンス研究所へ参加。ハードウェア、アプリケーション、ネットワーク、制御システム、重要インフラ等において診断経験を培い、現在はセキュリティ診断を行う現場の指揮官として戦略的ハッキングを行う傍ら、ソフトウェア実装・設計者と攻撃者視点を活かしたアドバイスも行っている。

#### 講演内容： TCG 技術を用いた”IoT”のセキュア化

近年、生活を便利にする、業務の生産性・品質等を支援する等の目的で IoT 機器の活用が急速に広まっている。しかしながら利用拡大が伴う反面、IoT 特有の脅威やセキュリティ対策は追いついていないという矛盾した状況が観察されており、昨今のセキュリティインシデント事例からも明らかとなっている。

本セッションでは様々な IoT 機器のセキュリティ診断の経験則にペンテスターからみた IoT 特有のセキュリティ課題と TCG 技術を応用したセキュリティ対策の勘所をデモを交え紹介する。